

謹・賀・新・年



建設山口 (山口県建設労働組合) 〒753-0815 山口市維新公園2-1-10 電話 083-925-2277 編集発行 熊谷 龍夫 定価 20円

2020年(令和2年)元旦

http://www.kensetsu-yamaguchi.com info@kensetsu-yamaguchi.com

規矩術を学び面白さを知る



周南市のイベント参加 木造二畳茶室を製作

イベント用に木造組み立て式で製作された二畳茶室

昨年6月末に実行委員会の企画したイベント「工芸としての茶室展」の茶室製作依頼が、学生時代の恩師である中川明子先生から森下さんに来しました。森下さんは正式な茶室ではないが、室内でお茶を点てることのできる木造組み立て式二畳茶室の製作の依頼を面白い試みだと思いい参加を決めました。

しかし、この依頼が来た時点では、クラウドファンディングで資金集めが始まったばかりでもあり、多少の不安もあったそうです。後に資金も予定額が集まり、何度も打ち合わせを重ね、8月初旬から約1週間の製作工程が開始。主に材料加工・躯体・

昨年9月16〜23日、周南市徳山駅前図書館2階のインフォメーションスペースで「工芸としての茶室展」が開催され、周南市の「山代和紙」と徳島県の「阿波藍」を組み合わせて作られた二畳の組み立て式茶室が展示されました。このイベントは徳山高専土木建築工学科の学生を中心とした実行委員会が主催。展示された茶室製作にOBでもある光支部の森下一将さん(大工・28)が参加しました。

「普段の仕事とは異なり、今回のようなイベント展示で多くの人が目に触れるものを作れたことも、自分のためになった」とも。また、「山代和紙」を使った建具と「阿波藍」を使った畳の部分の製作は周南市の職人が担当。このイベントを通じて、自分が使っている道具について真剣に考えるようになり、プレカットではない手仕事の技術に興味を持ってきました。

組立てを担当し、特に印象に残っていると、方形で設計してあり、これには規矩術が必要になります。また、イベント来場者が茶室内に入ってから見上げると、屋根部分の構造が見えるようになっていて、仕上がりの美しさも求められるものでした。この作業は規矩術の勉強が必要になりとても難しいものになりました。同時に、とても面白い作業にもなりました」と森下さんは話します。

やりがいのある手仕事

森下さんは子どもの頃から大工を目指していたわけではありませんでした。実家が工務店ということもあり、徳山高専土木建築工学科に進学。卒業後、寺社建築の会社に入社し、4年半の修行期間を経て、実家に帰り、祖父の代から続く(有)森下工務店に入社。二級建築士の免許も取得しました。大工として働き始める上、鍛冶屋さんと接して、自分が使っている道具について真剣に考えるようになり、プレカットではない手仕事の技術に興味を持ってきました。



森下一将さん

昨年秋には光市の早長八幡宮の秋祭りには、使用される山車の全改修の仕事も行いました。これからは丁寧な仕事ができる大工職人を目指し、日々技術研鑽し努力を重ねていきます。



方形(ほうぎょう)屋根とは：屋根形状の一種で、正方形の建物で四方からの棟が中央の一点に集まる四角錐のような屋根のこと。

▼私たちがタブレットに入れて8年になりました。今ではなくしてはならないものになりました。▼調べ物をしたり、本を読んだり、メールを確認したり、生活の一部になっていきます。スマホも使いますが、年を取って老眼もあり、少しでも大きい方が良く感じています。▼初めて、タブレットを買ったとき、しばらくは何に使うか考え付きませんでした。読めることがわかり、読書用にと使い始めました。▼最近では、専用の電子ペンを使い、絵を描いたり、メモを取ったりできます。仕事現場では、写真を撮りその写真に寸法、仕上げの種類等を書き入れていきます。用途は次々と広がってきて、無くてはならないものになりました。▼買った方がいいけど使い道に困っていませんか? 自分の趣味に使えないか、考えて使ってみませんか? これほど便利なツールはありませんよ。是非活用してみてください。

年頭のあいさつ

頼りにされる組合をめざして



執行委員長 吉村 修

組合員の皆様ならびに御家族の皆様方、令和初の新年、お正月を健やかに迎え、お正月のこととお慶び申し上げます。

ここ数年、毎年のように自然大規模災害が日本のどこかで発生しています。復興・復旧に向けて、国を挙げての取組やボランティア活動という爽やかな報道もあります。

こうした中、建設業従事者の減少と重機を扱える職人さんの不足などが日本社会全体の大きい問題となっており、衣食住という生活の基本が成立するために、何一つ欠けてはなりません。住を担う我々建設職人の力を発揮する局面

が近年、特に多く発生しています。被災地の方が新築を希望しても3年5年先でないといけないという話や屋根の補修工事がいつになるか分からないという話など、各地で非常に厳しい状況が続いていると聞きます。

ここ7年続けて公共工事設計労務単価が上昇していますが、現場で働く職人さんに届いていないことを発注者である国・県・市の担当者が把握し、アンケート形式で調査を始めております。決められた労働単価の確保は、若者入職者の少ない建設業では組合として、しっかりと運動していく必要があります。

長年要請してきた特定健診の補助として、初めて山口県が予算計上してくれました。これまでの運動の成果のひとつと考えます。

この補助制度が長く続いたためにも組合員さん、そして家族の方、自分自身の健康のためにも健康診断を受けてください。併せて各支部において受診勧奨をよろしくお願いいたします。

昨年8月、建設山口の組合員数が12年ぶりに目標であった1万2000人に達しました。各支部の取組、奮闘に感謝いたします。

加入動機は身近にいる組合員さんの声かけ、口コミが最も効果があると考えています。組合員の皆さん、今一度あなたの周りの建設業で働く未加入の方に是非声をかけてください。頼りにされる組合、頼りにされる組合をめざして役員・書記局、支部での窓口対応を含め、一丸となつて今年一年頑張ります。

皆様の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。

令和2年確定申告学習会

日程	時間	対象支部	場所
1月20日(月)	13:00~16:00	全支部	中国労金下松支店会議室
1月24日(金)	13:00~16:00	全支部	建設山口本部会館
1月26日(日)	13:00~16:00	全支部	下関市リサイクルプラザ

※確定申告学習会に参加希望の方は、お入りの支部へ、開催日の7日前までに御連絡ください。

令和2年申告相談会

支部名	日程	時間	場所
宇部	2月1日(土)・2日(日)・8日(土)・9日(日)	9:00~17:00	支部事務所
岩国	2月4日(火)	10:00~16:00	支部事務所
阿東	2月5日(水)	10:00~16:00	支部事務所
萩	2月6日(木)	10:00~16:00	支部事務所
徳山	2月7日(金)	10:00~16:00	支部事務所
美祿	2月10日(月)	10:00~16:00	支部事務所
下松	2月12日(水)	10:00~16:00	中国労金下松支店会議室
長門	2月13日(木)	10:00~16:00	支部事務所
光	2月14日(金)	10:00~16:00	支部事務所
下関	2月16日(日)	10:00~15:30	下関市リサイクルプラザ
山口	2月17日(月)	10:00~16:00	支部事務所
小野田	2月18日(火)	10:00~16:00	支部事務所
熊毛南	2月19日(水)	10:00~16:00	支部事務所
下関	2月23日(日)	10:00~15:30	下関市リサイクルプラザ
柳井	2月25日(火)	10:00~16:00	支部事務所
吉南	2月25日(火)~2月28日(金)	10:00~16:00	支部事務所
防府	2月26日(水)	10:00~16:00	支部事務所
豊浦	2月28日(金)	17:00~20:00	支部事務所

申込会・学習会の活用を

申し込みは各支部まで



近崎部長

【税金対策部長 近崎秀幸】あけましておめでとございます。確定申告準備の季節となりました。昨年は

消費税率の引き上げ、軽減税率、区分記載請求書等保存方式の開始など税制の大きな動きがありました。

組合としても昨年の勉強会より制度の周知や対応を進めてきました。1月の確定申告学習会、2月の各

支部申告相談会にて組合員さんへ、より一層の対応をしていきたいと思っております。

皆さんにも機関紙全建総連税金特集号や所得計算書、所得計算書エクセルCD版の活用をお願いたします。エクセルCD版の内容として、

ましては「令和元年分(月計)」と「令和2年分(日計)」の2つのソフトが入っています。これらは建設業に対応しており、わかり易い内容になっております。お役に立てていただければと思います。

近年の傾向として、

初めて申告をするのがやり方がよくわからない等の相談をよく受けます。ぜひ学習会、相談会の機会を活用していただきたいと思います。

また、今回より勉強会、相談会の申込時により細かく対応できるよう、よく聞いていただくことや、初めての確定申告かどうかお聞かせいただくようにしています。ご協力をお願いします。

今年も組合員のお役に立てるよう、努力してまいりますのでよろしくお願いたします。

大切なお知らせです 法人設立の際は 組合にご相談を

中建国保加入者の方で、個人事業主から新たに法人事業所を設立された際は、今まで加入されていた国民年金から厚生年金に切り替える必要があります。

手続き期間は法人設立から原則14日以内となります。短い期間で

14日を越えると中建国保の資格を失うこととなりますので、法人設立の予定がある方は事前に各支部へ御連絡ください。なお、法人事業所で従業員を新たに雇う場合も、雇用日から原則14日以内に手続きをお願いいたします。

また、元請やゼネコンからの誤った情報で、なかば強制的に法人化や協会けんぽへ移行された事例が報告されていますが、「中建国保加入は、協会けんぽ加入と同等の扱い」となります。

元請などから強要された場合は、本部もしくは、お入りの支部に御連絡ください。

マイカー共済 らくらく掛金見積み! QRコードから全労済の専用ホームページへ!

金建総連山口県建設労働組合専用詳細ページへ!

団体掛金適用! 所属の団体を通じてご加入いただく、団体掛金が適用されます。

ID : 35004150 PW : zz004150

https://www.zenrosai.coop/ss/kakekin/mycar/?shokuiki@login

カーライフを応援する、頼れる補償 マイカー共済

お問い合わせ ぐくみん共済 coop 山口推進本部 東部支所 0834-31-7171 中部支所 083-927-5003 西部支所 0836-35-4039

令和元年度 賃金アンケート

一人親方 450万円 常用・手間請 370万円

建設山口「賃金アンケート」の集計結果によると、令和元年の賃金実態(全職種平均)は昨年と比較して、事業主の支払い賃金が271円増の1万4074円、一人親方の受取賃金が291円増の1万6224円、常用・手間請で働く人の受取賃金は、135円増の1万2699円となりました。一人親方と常用・手間請の人の受取賃金の平均日額は(全職種)は1万4700円となり、昨年と比較すると、96円の増となりました。アンケートの回収枚数は、9879枚。回収率は昨年と比べ0.1%減になりましたが、過去最高の枚数となりました。

賃上げの有無

賃上げの有無では、常用・手間請の人については上がったと答えた人が75.4人の22%、変わらないが77%、下がったと答えた人が1%となっています。一人親方については、上がったと答えた人が4%、変わらないが90%、下がったと答えた人が6%。事業主にについては、上げたと答えた人が29%で下がった人が1%、70%がすえおいたと回答しています。

年収

年収(ボーナス・手当等を含めた総額)は、一人親方は301万円、常用・手間請で働く人が400万円が全体の26%となり、常用・手間請も301万円(昨年432万円)、常用・手間請で働く人が370万円(昨年362万円)という結果になりました。

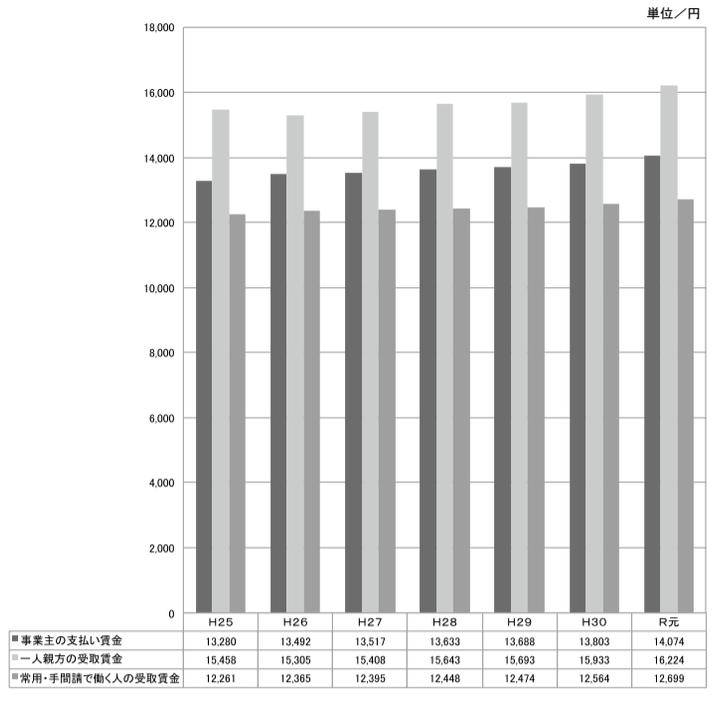
土日の休日

常用・手間請の人は、月1回以上土曜日が休みになっている人が、全体の半数の51%、一人親方は全体の41%。土曜全体として一人親方は41人、常用・手間請は347人となりました。

建退共

建設業退職金共済制度については、組合で取り組みを進めているところですが、事業主137人、一人親方523人、常用・手間請で働く人600人が知らないと答えており、引き続き周知を図る必要があります。

◆賃金実態(全職種平均)

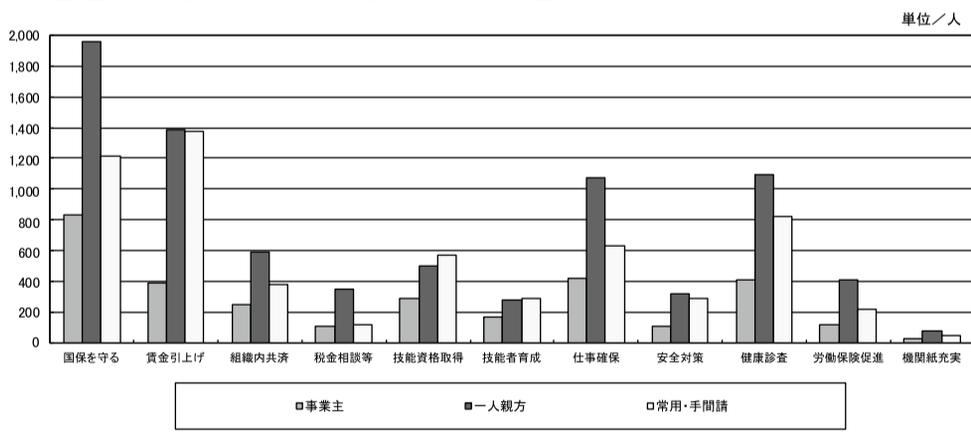


◆年収はいくら

	昨年1年間の年収 (ボーナス・手当等を含めた総額)
一人親方	450万円(4,036人平均)
常用・手間請で働く人	370万円(3,140人平均)

	単位/人									
	~100万円	101~200万円	201~300万円	301~400万円	401~500万円	501~600万円	601~700万円	701~800万円	801~900万円	901~1000万円
一人親方	108	316	749	1,038	920	423	219	136	70	69
常用・手間請で働く人	127	197	836	1,174	608	215	57	23	8	4

◆組合への要望について(複数回答)



標準見積書

見積書の中に法定福利費を請求しているとは回答した事業主は436人、請求していないと回答した方は1354人となりました。4人。事業主の24%が法定福利費を請求していません。また、一人親方も健康保険料、国民年金保険料を請求しているとは回答した方は142人となりました。

組合への要望

今回の賃金アンケートでは「組合への要望(複数回答)」についても併せて調査しました。事業主、一人親方、常用・手間請ともに国保を守るが一番多く23%となりました。次いで賃金引上げが18%、健康診査が16%となりました。

公共工事労務単価

現場に渡っていない

89%が不変と回答

国土交通省は、公共工事設計労務単価(国や自治体が公共工事の費用を見積もる際に使う一人前の労働者1人当たりの1日・8時間の労務単価)を7年連続して引き上げました。しかし、現場で働く技能労働者に引き上がった賃金は全国的に渡っていない状況が続いています。建設山口の賃金アンケート調査でも公共工事に携わった方は全体で2432人となり、全体の25%。そのうち、現場の賃金は変わらずと回答した事業主は427人(84%)、一人親方696人(92%)、常用・手間請は909人(88%)。全体で2032人の方が賃金は変わっていないと回答しています。

建設キャリアアップシステム 登録申請受付中

特徴①

建設キャリアアップシステムに登録すると技能者1人ひとりに建設キャリアアップカードが交付される。建設キャリアアップシステムに登録する事業者の現場で入場時にカードリーダーでカードを読み取ると就業履歴が自動的に蓄積される

特徴②

技能者が取得した資格や技能、就業履歴を簡単に証明できる

技能者の登録料 インターネット申請の場合⇒2500円
郵送・窓口申請の場合⇒3500円

事業者の登録料 資本金に応じた額
個人事業者は3000円
※1人親方は無料

特徴③

保有資格や蓄積される就業履歴等により技能者レベルを評価。客観的に技能者の能力レベルが証明されることで処遇の改善を期待できる(現在、技能者の能力評価基準・レベル分けを国交省で検討中)

特徴④

技能者の就業履歴により建退共手帳への証紙の貼付け枚数の確認が確実かつ容易になる

特徴⑤

事業者は現場管理を効率化できる(建退共事務の軽減、社会保険の加入確認など)

評価基準に合わせてカードを色分け





全国の仲間が一同に会して(日比谷公園大音楽堂)

11・20中央総決起大会

東京・日比谷公園大音楽堂で全建総連主催「11・20賃金・単価引き上げ、予算要求中央総決起大会」が開催され、全国から50県連・組合から3566人が参加し、建設山口からは吉村委員長を先頭に、16人が参加しました。

はじめに主催者を代表し吉田中央執行委員長があいさつ。各省庁への要請団決

諸要求実現へ

意表明のあと、来賓あいさつとして各政党の代表から激励の言葉を授けました。基調報告、決意表明のあと、大会決議

一方で、現場で働く仲間の賃金・単価は、なお不十分な水準にとどまっている。賃金・単価引き上げのたたかいに全力を上げよう。などの決議(案)を採択。

記帳の学習会 県下3会場で開催

確定申告に備えた所得計算書学習会を県下3会場で開催。12月1日下関、4日下松、5日山口の会場に合わせ、40人が参加しました。



説明に聞き入る参加者

の記帳に対応するため「日計記帳用紙」を作成しています。この「日計記帳用紙」で日々の記帳からその月の会計をまとめ、それを従来の「所得取りまとめ帳」に転記し、月ごとの記帳からその年の収支を計算します。

また、山口会場では全国国民年金基金本部の辰馬支部支援課長から国民年金基金の紹介と税制上の優遇制度等の説明を受けました。

全建総連第60回全国大会

若者に選ばれる建設業に



全国から53県連・組合1453人が参加

「年間増勢を力に、賃金・単価を引き上げ、若者に選ばれる建設産業をめざそう」をメインスローガンに全建総連第60回定期大会が10月30日～11月1日の3日間、熊本県熊本市「熊本市民会館」で開催されました。53県連・組合から1453人(来賓・事務局含む)が参加。建設山口からは吉



来島さん

建設連の役員として、中央執行委員に吉村修執行委員長、小林和弘書記長が選出されました。



各班に分かれてグループワーク

11月25～26日、第32回主婦の会県内交流学習会を下松市の「国民宿舎大城」を会場に10支部31人の参加者で開催しました。

長谷主婦の会会長から「毎年災害が続いていますが平穏な暮らしが、家庭の平穏な暮らしを支えるために、もしっかり学んで楽しい学習会にしましょう」と挨拶があった後、「メタボ解消の生活習慣」と題した講演を山口県予防保健協会の保健師 重田映子氏から受けました。

「主婦の横のつながりを組織を増やすこと」を把握し、合理的な経営を行うためにも必要なものです。

また、野外研修として、下松市栽培漁業センターを訪問。好天にも恵まれ、充実した交流学習会となりました。

村委員長をはじめ、22人が参加しました。1日目は、吉田中央執行委員長が主催者を代表してあいさつ。勝野書記長から第59期の経過報告と財政決算報告が行われました。

質疑・応答の後、勝野書記長から第60期の運動方針案と一般会計予算案が提案。主な重点課題として、賃金・

単価の引き上げ、国保組合の育成・強化、建設産業の担い手確保・育成等が上げられました。



分科会議長を務める近崎部長(右)

「つくる喜び」を伝える ものづくり体験フェア

建設山口技能士会として、毎年参加している「ものづくり体験フェア」が10月26日、「やまぐち産業維新展」へ出展する形で、周南市のキリンビバレッジ周南総合スポーツセンターで開催されました。



指導員も楽しみながら

親子木工教室を実施することを確認。ミニニス・マガジンラック・本立ての3種類を合計100セットを募集し、9名で指導にあたりました。

「ものをつくる喜び」「木の良さ」を子どもたちに伝えるこの取組は、今後も継続して取り組んでいきます。

主婦のつながりで 組織を増やす

組織を増やす

果票の見方の説明を受け、効果的なダイエツト法を重田氏の実体験を交えてお話されました。生活習慣の疑問を質問したり、食生活の失敗談に笑い合う様子も見られ、楽しく学べる講演となりました。

また、野外研修として、下松市栽培漁業センターを訪問。好天にも恵まれ、充実した交流学習会となりました。

物を作る楽しさ

木とのふれあい体験教室

防府支部



小刀を使って箸、鉛筆作り

【防府沢田淳(大工・37)】木材を通して木のことを知ってもらおうといったコンセプトから始まった木育は、年々各地で広がりをみせて発展している。

「木とのふれあい体験教室」という名で木育事業に取り組んでいる。

もちろん建設組合が取り組むので木を通して木に興味を持つことも

いろいろな記事やニュース、SNSなどで各地の取り組みを常にチェックしている。例えば、木のオモチャで遊ばせたり、木の知識や利用、使用方法を教えたり、木育という様々な形で行われている。こうした取り組みや催しがある一方で建

設山口でも「木とのふれあい体験教室」という名で木育事業に取り組んでいる。

子ども達に指導教育をしている。防府支部では、4年前から木育に携わり、当初こそは、この4項

はさすがに身が引き締まる。あまり岩場経験のない女性ばかりだが大丈夫か。幸い私の連れ合いはクライミング経験者なので心強い。

子ども達に何かを作らせる取り組みを始め、実際に以前より木に興味を持ち、仕事に作る楽しさを感じてもらえている。木育を通して、このような気持ちを作り出していきたいと考えています。

目に力を入れて取り組んでいたが、果たしてこの項目で子ども達が木に、そして木に携わる仕事に興味をもってくれるのだろうかと疑問を抱き、開始2年目から4項目に加え実際に子ども達に何かを作ってもらおうと考え、今年防府市立小野小学校(4年生25人)にて、木の話、丸太切り、カンナ削りに加えて箸、鉛筆作りを試みた。

子ども達に何かを作らせる取り組みを始め、実際に以前より木に興味を持ち、仕事に作る楽しさを感じてもらえている。木育を通して、このような気持ちを作り出していきたいと考えています。

子ども達に何かを作らせる取り組みを始め、実際に以前より木に興味を持ち、仕事に作る楽しさを感じてもらえている。木育を通して、このような気持ちを作り出していきたいと考えています。

子ども達に何かを作らせる取り組みを始め、実際に以前より木に興味を持ち、仕事に作る楽しさを感じてもらえている。木育を通して、このような気持ちを作り出していきたいと考えています。

ためにイメージ図を描き、それぞれイメージ図が完成すると鉛筆を削るといった順序で進めてもらった。丸形であつたりと多角形であつたりと各々の思い描く形へと出来上がっていく様子は指導者としても面白く感じた。

講師に全建総連教宣部担当の金田弘幸氏をお招きし「機関紙づくりの基礎学習・原稿の書き方と取材方法」と題して30分間の講義が行われました。その後、取材先の阿多田交流館へ移動。



調査員岡井さんから説明を受ける

学習会で多くを学ぶ 平生町で教宣学習会

【熊毛南・河野公彦(配管工・47)】昨年11月7・8日の2日間で、建設山口第31回教宣学習会が平生町「ホテルニューひらお」において、10支部21名の参加で開催されました。

発表を終え、金田氏より総評と個々の注意点がありました。午後からは新年号1面企画会議が行われ、閉会となりました。

2日目は、午前中に全員の原稿発表があり、1人1人が様々な視点から書いた原稿に多くを学びました。

発表を終え、金田氏より総評と個々の注意点がありました。午後からは新年号1面企画会議が行われ、閉会となりました。

登山靴 29

ジャンダルムの思い出 3,163m (長野県飛騨山脈)

久光 義秋 (光・大工70)

「ジャンダルム」聞き慣れない言葉だが好きな御仁ならず

奥穂高岳頂上から見ると凜とした岩塔

奥穂高岳頂上から見ると凜とした岩塔

奥穂高岳頂上から見ると凜とした岩塔

奥穂高岳頂上から見ると凜とした岩塔

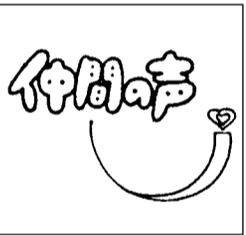


奥穂高岳からジャンダルムを望む

奥穂高岳に登った思い出に少しスリリングな冒険歩きを計画していた私は、女性3人とジャンダルムの頂上から眺めた景色を穂高岳の思い出に添えようとして挑戦した。

奥穂高岳に登った思い出に少しスリリングな冒険歩きを計画していた私は、女性3人とジャンダルムの頂上から眺めた景色を穂高岳の思い出に添えようとして挑戦した。

奥穂高岳に登った思い出に少しスリリングな冒険歩きを計画していた私は、女性3人とジャンダルムの頂上から眺めた景色を穂高岳の思い出に添えようとして挑戦した。



仲間声

台風で中止に

光 平田 邦子

(主婦)

「料理を作りながら楽しい時間を過ごしませんか」と9月22日防の森ロッジでピザ、カレー作りを計画。集まるかどうか不安でしたが、皆さんの協力もあり、なんと30名(子

どもを含む)の参加申し込みが。もうビックリでした。そして、お米、野菜などを持ってくるよと言っていたいただき、本当に良いのと感じ

感謝でした。そこに、台風です。ガツクリ。迷いましたね。でも、安全第一、中止の連絡。

手伝っていただいた主婦の会の皆様(初参加の方もいたんですよ)、本当に本当にありがとうございました。ピザ、カレー食べたかったなあ。

感謝でした。そこに、台風です。ガツクリ。迷いましたね。でも、安全第一、中止の連絡。

手伝っていただいた主婦の会の皆様(初参加の方もいたんですよ)、本当に本当にありがとうございました。ピザ、カレー食べたかったなあ。

感謝でした。そこに、台風です。ガツクリ。迷いましたね。でも、安全第一、中止の連絡。

手伝っていただいた主婦の会の皆様(初参加の方もいたんですよ)、本当に本当にありがとうございました。ピザ、カレー食べたかったなあ。

愛猫

チヨビくん



お兄ちゃん猫マロにあまえるチヨビ

下関支部 金子志津乃さん

享年14歳。私の喪失感も半端なかったが、それ以上に温もりを求めて鳴くチヨビを救ったのは、2歳になるお兄ちゃん猫「マロ」だった。それまでムサシとチヨビのイチャイチャを割と遠巻きに見ていたマロが、赤ちゃんのチヨビに寄り添い、毛繕いや尻尾であやしたり、トイレのお世話まで。きつと赤ん坊のチヨビを心配してムサシがマロに委ねたんだらう、そんな気すらしてくる。あれから2年、時折チヨビは一点をじつと見つめる。「ムサシがいるんだね」と思う事になっている。多分ハエかなんかだろうけど。

12,092人 11月末組合員数

建設山口の組織人数は昨年の11月末現在、

建設山口の組織人数は昨年の11月末現在、

建設山口の組織人数は昨年の11月末現在、

支部	令和元年11月末建設山口組合員数	4月からの増減数
東国部	69	-1
阿岩宇	1,795	24
小野田	1,654	12
吉南	573	6
下松	1,021	-9
熊毛	1,260	47
下関	254	-2
徳山	1,172	-25
豊浦	756	2
長門	179	-5
萩	178	2
光	194	-7
防府	249	7
美祿	970	19
山口	172	2
柳井	1,157	32
計	12,092人	108

建設山口の組織人数は昨年の11月末現在、



光・吉高 雅弘 (大工・42)

「頼られています！
がんばります!!」



徳山・濱本 尚哉 (大工・22)

「技術向上」



吉南・白澤 稔生 (鉄工・18)

「今年は立派な大人になり、
一流の職人になります」



熊谷教宣部長 (左官・55)

「みなさんに読まれる
機関紙を作ります」



防府・馬越 直二郎 (電工・48)

「より一層、
機関紙づくりに励む」



豊浦・竹田 義男 (電工・42)

「私が昭和生まれ妻が平成生まれ子供が令和生まれと、妙な間隔
がありますが令和初の人生初の育児に幸せを感じています」



下松・深海 翔太 (とび・35)

「安全第一!!」



阿東・折口 大介 (内装・42)

「今年こそ富士山登頂」



美祢・町田 裕介 (大工・34)

「夫婦仲良く仕事と
子育てを頑張る」

『令和初の試み』

昨年5月から改元され、令和となりました。組合員さんから「令和初の○○」と題して、目標や挑戦してみたいことを届けてもらいました。



岩国・山本 英治 (塗装・75)

「公契約条例を作りたい」



山口・山根 徹 (大工・31)

「家族サービスを
がんばりたい!!」



長門・村田 淳 (大工・28)

「父、祖父めざして頑張ります」



熊毛南・生田 真規 (大工・32)

「子供と出来る趣味を
作りたいです!」



宇部・津崎 彩加 (主婦・36)

「令和になって組合員になり、主婦の会
ソフトバレー参加を始めました」



柳井・丁田 快 (とび・21)

「安全第一」



萩・山縣 巧次 (防虫・39)

「何事にも全力疾走!!」



下関・金子 浩一 (左官・58)

「健康重視で頑張ります」



小野田・村田 克哉 (造園・35)

「定期的に休みを取る」